

水芭蕉公園景観及び水芭蕉保全事業

取組に至る背景・事業の目的

水芭蕉公園内の景観が悪化してきているなど、観光地・市民の憩いの場である公園の魅力が低下してきていること及び地域住民の水芭蕉公園に対する愛着と誇りを醸成するため、市民団体と地域住民が主体となって、水芭蕉公園の景観・水芭蕉の保全事業を実施する。

事業内容

- 1 遊歩道及び東屋の整備
水芭蕉公園の景観保全及び観光客の安全を確保するため遊歩道及び東屋の整備を行った。
 - 2 観賞スペースの設置
水芭蕉公園内に座って観賞できる場所が少ないため、観賞スペースを設置した。
 - 3 水芭蕉育成環境の整備
水芭蕉育成環境の保全を図るため、水芭蕉が群生する棚田内にあぜ板を設置し、棚田内に水が溜まるよう整備した。
 - 4 植栽30年を記念したイベントの開催
水芭蕉植栽30年を記念した「水芭蕉まつり」を開催し、地域住民の水芭蕉公園に対する愛着と誇りを醸成するとともに、訪れた方々へのおもてなし（支援団体等による賑わいの創出）により魅力ある観光地としての情報発信を行った。
- 期 日 平成26年4月19日（土）、20日（日）
内 容 ・市民団体による音楽、太鼓などの演奏発表
・協賛団体（企業含む）等による特産品の販売及び甘酒、コーヒーの振る舞い
- 来場者数 1,150人



事業効果

- 公園施設の充実による景観保全と来訪者の安全確保が図られるとともに、水芭蕉の育成環境が改善された。
【水芭蕉群生数H25：約3,600株→H26：4,000株 10%増加】
- 地域住民と協働で公園の整備、管理を行うことにより、市民の水芭蕉公園に対する愛着を高めることができ、会員数が増加した。
【みどり湖水芭蕉の会会員数 H25：26人→H26：28人 約10%増加】
【水芭蕉まつりへの市民団体参加数 H25：2団体延べ10人→H26：4団体1個人延べ30人】
- みどり湖耐震工事に伴いへら鮎釣りが禁止されている中、水芭蕉公園の魅力を磨き上げることで観光地としてのみどり湖の景観を保持するとともに誘客促進に繋がっている。
【みどり湖観光入込客数】
H24：25,500人 → H25：17,000人 30%減少
H25：17,000人 → H26：16,500人 5%減少 ※激減傾向に歯止め

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・ 地域住民はもとより、観光地及び市民の憩いの場をつくる実践者並びに関係団体を増加させることにより、水芭蕉公園だけではなくみどり湖全体の景観保持と魅力の磨き上げを行っていききたい。
- ・ 水芭蕉が咲く時期以外の公園の魅力創出（活用）を行政、地域住民、関係団体と連携して行っていききたい。
- ・ 水芭蕉の育成環境が整いつつあるため、水芭蕉の群生数をさらに増加させるなど魅力を高めることにより、今後も継続して維持管理が行えるような仕組みづくりを行っていききたい。（維持管理費の確保等）

【選定のポイント】

会員を中心に地域住民を主体とした、地域への愛着を深める地道な活動であり、モデル性に優れる。

団体名	みどり湖水芭蕉の会（塩尻市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	塩尻市大門五番町12番41号	事業費	437,393円
		支援金額	316,000円